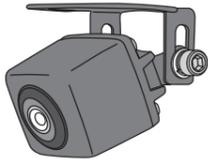


# リアVIEWカメラ RVC801

## 取付/取扱説明書



このたびは、データシステム製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。その後大切に保管し、必要な時にお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

**ご相談窓口**

**お電話 086-486-0442** サービス(技術的なお問い合わせ・修理受付)  
【受付時間】月曜日～金曜日 10:00～12:00 / 13:00～17:00  
(年末年始/祝日など、弊社休業日を除く)

**メールでのお問い合わせ**  
<https://www.datasystem.co.jp/support/index.html>

**製品取付・製品紹介動画サイト**  
<https://www.youtube.com/user/datasystem001/videos>

**Data System 株式会社 データシステム**  
■[本社] 東京都新宿区新宿1-18-2 ■[倉敷支社] 岡山県倉敷市神田1-1-11  
弊社に無断で本説明書の内容・図・写真の全部、または一部の複製(コピー)・転用・転載を禁じます。  
RVC801-2208-AKN

## 保証について

本製品は、日本国内で車検を受けた車両専用設計された製品であり、弊社が認める適合車両以外への取り付け、および日本国外での販売や使用を禁止しています。

万が一、日本国外で使用されたとしても、弊社は一切の責任・保証を負いませんのでご了承ください。

- 付属の保証書に必要な事項をすべてご記入ください。  
特に販売店印およびご購入日の記入がない場合、保証書は無効となります。保証期間を有効にするために、必ずユーザー登録をおこなってください。

※保証期間はご購入日を含めて「1年間」です。  
※ユーザー登録をおこなわない場合、保証期間は無効となります。  
※保証規定は保証書を参照してください。  
※保証書はいかなる理由があっても再発行致しません。

## 保守部品の保有年数について

この製品は、補修部品の入手性、修理後の性能保証の観点から修理対応期間(保守部品の保有年数)を製造打ち切り後、6年間に設定しています。  
※修理対応期間は目安であり、実際の期間は若干異なる場合があります。修理対応期間(保守部品の保有年数)を終了している製品については、修理のご依頼をお受けできない場合があります。

## 注意事項の定義について

注意事項は「**危険**」、「**注意**」、「**警告**」、「**重要**」に区分しており、それぞれ次の意味をあらわします。

<b>危険</b>	守らないと、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が高いもの
<b>注意</b>	守らないと、車両および製品を破損、または故障させるおそれがあるもの
<b>警告</b>	守らないと、法律に違反するおそれがあるもの
<b>重要</b>	本製品を使用する上で知っておいていただきたいこと

## 取り付け上の注意

- 取り付け作業前に、必ずバッテリーマイナス端子を外して車両側の電源を遮断してください。電源を遮断しない状況での取り付けは、ショートや感電など重大事故につながります。
- シートレールやペダルなどに噛み込まれたり、挟まれる可能性のある場所など、運転に支障をきたす場所には本製品を絶対に設置しないでください。
- 電源ハーネスは必ず付属品を使用してください。付属品以外は使用できません。**
- 本製品は12V車専用です。
- 製品の取り付けは、必ず専門の知識・設備のある取扱業者でおこなってください。
- 本製品の分解や改造は絶対におこなわないでください。
- 車体から脱落しないようしっかりと装着してください。
- 電源ハーネスは切断して使用しないでください(延長は可)。電源回路およびヒューズを切断してしまうと、正常動作しなかったり車両側の故障の原因となります。
- バッテリーのマイナス端子を外す前に、オーディオ機器などの設定内容をメモしておき、取り付け完了後に再入力してください。入力方法は機器の取扱説明書をご参照ください。
- 車両側および本製品の配線を傷つけないよう、配線の取り直しには十分ご注意ください。  
また、車内に水が浸入しないよう適切な配線処理をおこなってください。
- 電源ハーネスのアース線は、塗装などが施されていない(金属が露出している)場所に接続してください。アース不良が原因で、本製品が正常に動作しない場合があります。
- 本製品取り付けの際、静電気の帯電にご注意ください。静電気の放電によって機器が故障するおそれがあります。
- 配線部分は絶対に引っ張らないでください。断線、接触不良を引き起こすおそれがあります。
- 必ず車体最後部からはみ出さない位置に装着してください。車体最後部からはみ出してしまうと車体の全長が変わり、車検証記載事項の変更などが必要になる場合があります。
- 付属のピン端子ケーブルの長さが足りないときは、別途延長ケーブルをご用意ください。

## 使用上の注意

- カメラ映像は、ドアミラーやバックミラーなどと同様に、あくまで車の安全をサポートするためのものです。本製品使用中は、必ずドライバー自身が直接周囲の安全確認をおこなってください。
- 自動洗車機などによる高圧洗浄はおこなわないでください。内部に水が浸入して故障の原因となる場合があります
- カメラ本体およびステーは、ベンジン・シンナー・ガソリン・アルコールなど揮発性がある薬品類で拭かないでください。変質・変形などの原因となります。
- レンズを拭く際は、柔らかい布などに水を含ませ、軽く拭いてください。強くこすったり乾いた布などで拭いたりすると、レンズに傷がつく原因となります。
- カメラに電源が入った直後や、カメラの使用中にカメラ映像の明るさや色あいが変化することがあります。これは周囲の明るさをカメラが検知し、映像補正するために発生する症状ですので、故障ではありません。
- カメラ映像は、視野角やレンズ形状などから実際の距離とは距離感が異なります。
- ガイドラインの幅、角度、長さ、色は調整できません。ガイドラインは障害物までの距離を確認するための目安です。
- レンズは定期的に、または汚れていたらきれいに拭いてください。
- 本製品を使用して発生した事故、違法行為、車両の故障または破損などの責任は一切負いません。

## 内容物一覧

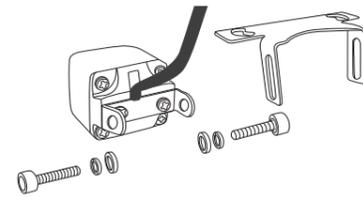
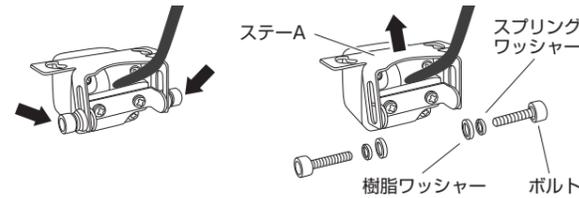
- RVC801本体…1個 (ケーブル長:3m)
- 電源ハーネス…1本 (ケーブル長:3m)
- ガイドライン表示切り替えコネクター…1個  
※RVC801本体のケーブルに取り付けられています
- 正像/鏡像切り替えコネクター…1個  
※電源ハーネスに取り付けられています
- コードクリップ…4個
- ピン端子ケーブル…1本 (ケーブル長:6m)
- タッピングスクリー…2個
- フィッティングプレート…1個
- 防水ラバー…1個
- 両面テープ…1個
- 脱脂クリーナー…1個
- エレクトロタップ…2個
- 六角レンチ…1個
- 取付/取扱説明書(本書)
- 保証書&ユーザー保証登録カード

## フィッティングプレートの使用方法 (他メーカー製リアカメラ用車種別取り付けキット使用時のみ)

他メーカー製リアカメラ用車種別取り付けキットに付属のスペーサーは使用しません(スペーサーが付属していない場合もあります)。

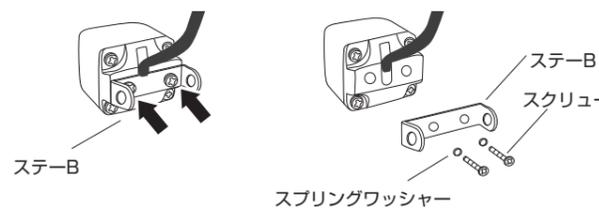
### 1. RVC801から図で示したボルト類を外してステーAを取り外す

※ボルト・スプリングワッシャー・樹脂ワッシャーは、再利用しますので無くさないようにご注意ください。  
※取り外したステーAは使用しません。



### 2. RVC801から図で示したスクリーを外してステーBを取り外す

※スクリー及びスプリングワッシャーは、再利用しますので無くさないようにご注意ください。  
※取り外したステーBは使用しません。

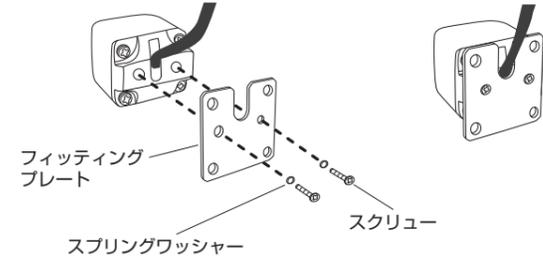


## 仕様

有効画素数	約32万画素
水平解像度	約450TV本
水平画角	140°
垂直画角	105°
TVシステム	NTSC
電源	DC6~15V
消費電流	約60mA
動作可能温度	-20℃~+65℃
出力タイプ	正像/鏡像
ガイドライン表示	表示/非表示 切り替え
ヒューズ	1A
外形寸法	幅23mm×高さ21mm×奥行34mm (幅・高さ:ステー部除く/奥行:ステー部含む)
重量	約25g(カメラ本体+ステー部)※ケーブル除く

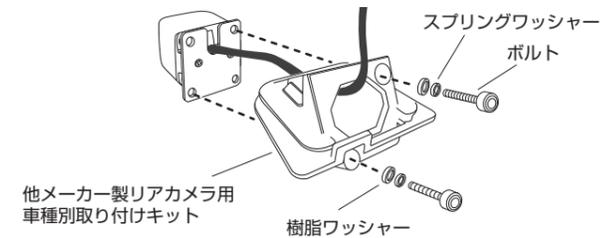
### 3. RVC801にフィッティングプレートを取り付ける

※フィッティングプレートに裏表はありません。  
※項目2で外したスクリー・スプリングワッシャーを使用して取り付けます。



### 4. 他メーカー製リアカメラ用車種別取り付けキットにフィッティングプレートを取り付ける。

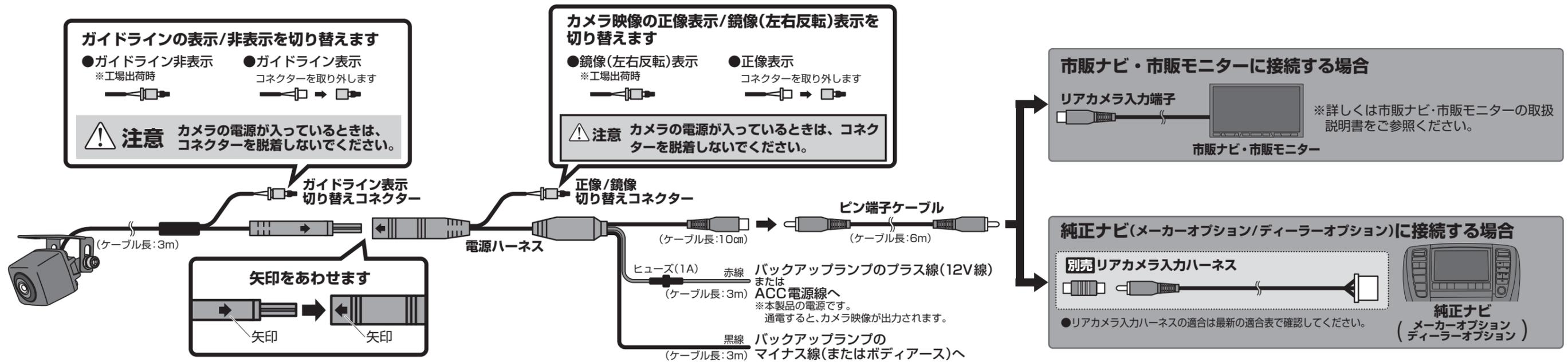
※項目1で外したボルト・スプリングワッシャー・樹脂ワッシャーを使用して取り付けます。



**注意** ●他メーカー製リアカメラ用車種別取り付けキットは車種により形状が異なります。



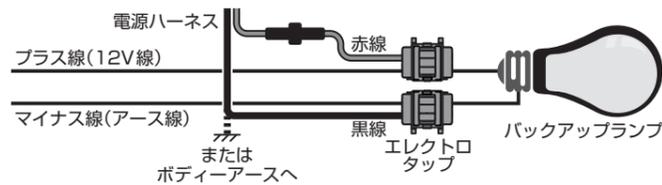
# 接続概要図



## 赤線/黒線の接続

赤線は【バックアップランプのプラス線(12V線)】に接続します。  
※カメラ映像が乱れる場合は、【ACC電源線】に接続してください。

黒線は【バックアップランプのマイナス線(アース線)】、またはボディアースに接続します。  
※ボディアースに接続する場合は、塗装されていない金属部分に、車両のボルトを利用して取り付けてください。

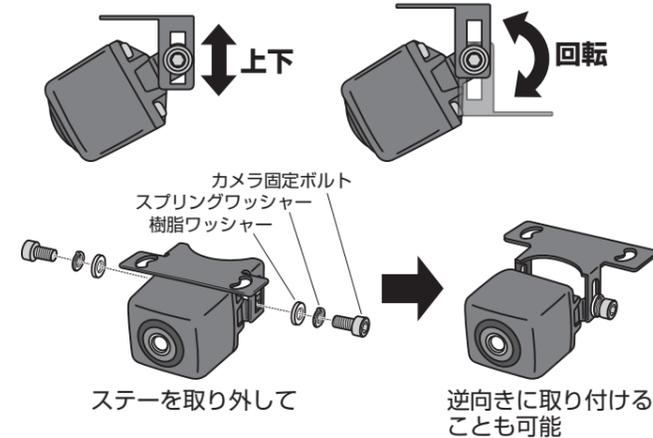


## エレクトロタップのつかいかた

- エレクトロタップの「ストッパーが付いていないくぼみ」に、車両の配線を重ねる
- カバー(A)をしっかりと閉じる  
※プライヤーなどを使用して「カチッ」と音がするまでしっかりと閉じてください。
- 接続する配線を、エレクトロタップのストッパーに当たるまで差し込む
- カバー(B)をしっかりと閉じる  
※プライヤーなどを使用して「カチッ」と音がするまでしっかりと閉じてください。

## カメラのステーについて

取り付ける場所に合わせて、ステーの位置を調整できます。



**重要** カメラのステーを分解する際は、ボルト類を紛失しないように注意してください。

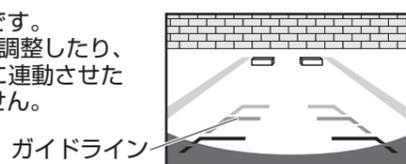
## 防水ラバーのつかいかた

カメラのケーブルがトランクなどに噛み込まれると、隙間から水が入り込むおそれがあります。  
付属の防水ラバーをはめ込んで、防水ラバーをケーブルに押しつけてください。

## ガイドラインについて

ガイドラインはカメラ映像の中央に表示され、障害物までの距離を確認するための目安となります。

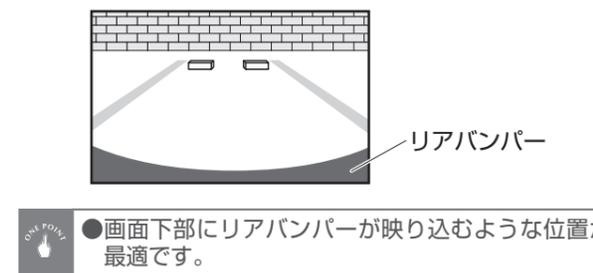
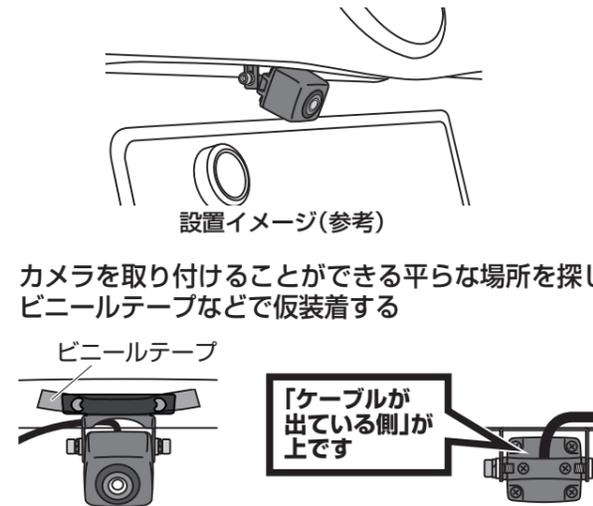
ガイドラインは固定です。間隔・長さ・角度・色を調整したり、ステアリングの操作に連動させたりすることはできません。



## カメラの取り付け

カメラの取り付けをはじめる前に  
●配線をすべておこなって映像が映る状態にしておくと、カメラの映像を確認できるので取り付け位置の調整がしやすくなります。

- カメラを取り付けることができる平らな場所を探し、ビニールテープなどで仮装着する
- カメラ本体と電源ハーネスを接続する
- ナビ・モニターにカメラの映像を表示させる
- 下のような表示になるよう、カメラの位置や角度を調整し、カメラ固定ネジを仮締めする



- カメラを取り外し、脱脂クリーナーで汚れやワックスなどを落とす
- カメラのステーに両面テープを貼り付ける

**注意** 貼り付け面はしっかりと脱脂してください。脱脂が不十分だと、カメラが脱落するおそれがあります。

- 両面テープのシートをはがして車体に貼り付ける

**注意** 両面テープが完全に密着するまで、24時間以上かかります。その間は、カメラ本体に負担をかけたり、水をかけたりしないでください。必要に応じて、付属のタッピングスクリューでしっかりと固定してください。

- もう一度カメラの映像を表示させ、角度の微調整をおこなう  
カメラ固定ボルトをしっかりと締め、レンズの保護シートをはがして作業終了